

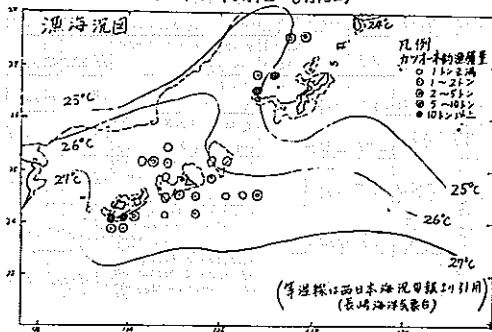
[ 第 1 報 ]

漁海況速報

(第1報)  
(昭和56年6月1日)

沖縄県水産試験場  
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町17日  
TEL 09831-4-3573

(昭和56年6月1日~6月15日)



§ 海況

沖縄本島近海の表面水温は、25~26℃。沖縄北西方の黒潮域では26℃台で前月後半に比べ1℃(1.7)昇温した。また沖縄本島東岸の100~150m層水温は、前年同期に比べ1℃内外低い。

当水試は、5月11日~13日に実施した定規観測では黒潮流軸は大陸棚縁に接し、流速は前年同期に比べ遅く、沖縄島西岸にある南下流も前年同期に比べ弱勢であった。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年6月1日~6月15日)

| 業種     | 所属漁協 | 漁一網水揚量(トン) | 漁場    |  |       | 魚種別水揚量(トン) |     | 前年同期 |    |
|--------|------|------------|-------|--|-------|------------|-----|------|----|
|        |      |            | 伊良部   | 八重山  | 本部    | カマツオ       | 一本釣 | 支    | 支上 |
| カツオ一本釣 | 本部   | 28         | 48.2  | 伊良部大正 大15 中22 小121 計22.0<br>伊良部 大0.2 小16.4 計16.6 | 241   | 28.8       |     |      |    |
|        | 伊良部  | 34         | 16.6  | 伊良部大正 大0.2 小16.4 計16.6                           | 61    | 84.7       |     |      |    |
|        | 八重山  | 56         | 34.8  | 伊良部大正 大0.2 小16.4 計16.6<br>伊良部 大0.2 小16.4 計16.6   | 88    | 82.6       |     |      |    |
| 計      | 118  | 99.6       |       | 190  | 197.3 |            |     |      |    |
| マアロハズシ | 県漁連  | 73         | 1734  | 大1.7 中9.4 小56.1 計67.2<br>大1.7 中9.4 小56.1 計67.2   | 74    | 226.8      |     |      |    |
|        | 那覇地区 | 29         | 108.5 | 大1.7 中9.4 小56.1 計67.2<br>大1.7 中9.4 小56.1 計67.2   | 13    | 51.8       |     |      |    |
|        | 計    | 102        | 282.9 |  | 87    | 278.6      |     |      |    |

§ 漁況

○ カマツオ一本釣

本部、伊良部、八重山各漁協とも6月初旬から本格釣り操業を開始。1日1隻当り小判(1.2~3kg)主体に0.4~1.7トンの水揚げを行っている。漁獲量は全般的に今一週間に比べて特に宮古、八重山地区においては前年と比較しては若干不振の傾向がある。

○ マアロハズシ

県漁連、那覇地区におけるマアロハズシ漁業の総水揚量は283トンで総延漁数は102隻であった。1日1隻当りの水揚量は平均2.71トンでキハダが58%を占めている。

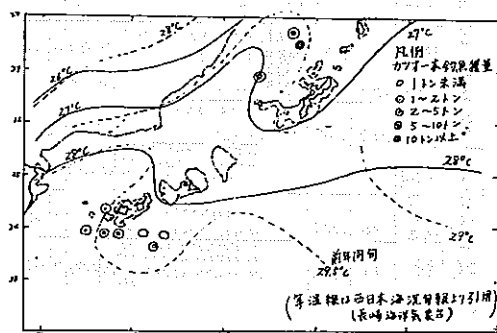
[ 第 2 報 ]

漁海況速報

(第2報)  
(昭和56年6月2日)

沖縄県水産試験場  
〒901-03 沖縄県糸満市西崎町17日  
TEL 09831-4-3573

(昭和56年6月16日~6月30日)



§ 海況

沖縄近海の表面水温は前期に比べ2℃内外昇温し26~28℃台であるが、前年同期に比べ1~2℃ほど低い。那覇、宮古、石垣、与那国の沿岸水温は、平年比0.1~0.6℃低目に経過した。また魚釣角近海の水温も平年比0.7℃低い。6月全般の傾向としては黒潮域で1℃以上沖縄近海で1℃ほど平年比低目であった。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年6月16日~6月30日)

| 業種     | 所属漁協 | 漁一網水揚量(トン) | 漁場    |  |      | 魚種別水揚量(トン) |       | 前年同期 |    |
|--------|------|------------|-------|--|------|------------|-------|------|----|
|        |      |            | 伊良部   | 八重山  | 本部   | カマツオ       | 一本釣   | 支    | 支上 |
| カツオ一本釣 | 本部   | 31         | 42.9  | 伊良部大正 大15 中22 小121 計22.0<br>伊良部 大0.2 小16.4 計16.6 | 28   | 42.32      | 22.2  |      |    |
|        | 伊良部  | 71         | 28.1  | 伊良部大正 大0.2 小16.4 計16.6<br>伊良部 大0.2 小16.4 計16.6   | 34   | 16.6       | 92.7  |      |    |
|        | 八重山  | 49         | 18.6  | 伊良部大正 大0.2 小16.4 計16.6<br>伊良部 大0.2 小16.4 計16.6   | 56   | 34.8       | 101.1 |      |    |
| 計      | 151  | 149.6      |       | 118  | 99.6 | 223        |       |      |    |
| マアロハズシ | 県漁連  | 63         | 1427  | 大1.7 中9.4 小56.1 計67.2<br>大1.7 中9.4 小56.1 計67.2   | 73   | 1734       | 226.8 |      |    |
|        | 那覇地区 | 39         | 112   | 大1.7 中9.4 小56.1 計67.2<br>大1.7 中9.4 小56.1 計67.2   | 13   | 51.8       | 21.3  |      |    |
|        | 計    | 102        | 252.7 |  | 87   | 278.6      | 248.1 |      |    |

§ 漁況

○ カマツオ一本釣

6月下半期におけるカツオ一日一隻当り水揚量は、本部1.3t、伊良部1.2t、八重山0.4tと上半期に比べて本部漁協は1.1t、伊良部、八重山漁協は両方とも低下を続けている。

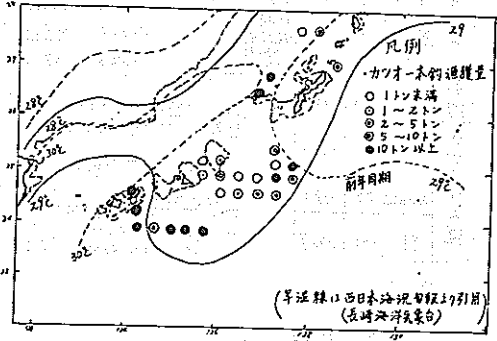
○ マアロハズシ

県漁連、那覇地区におけるマアロハズシ漁業の総水揚量は252.7トンで総延漁数は102隻であった。1日1隻当りの水揚量は平均2.51トンでキハダが54%を占めている。

[ 第 3 報 ]

漁海況速報

(第 3 報) 沖縄県水産試験場  
 (昭和三十五年七月) 7901-03 沖縄県糸満市西町1丁目  
 TEL. 09977-4-3573  
 (昭和36年7月1日~7月15日)



海況

沖縄近海の表面水温は28~29℃台で、6月下旬に比べ1℃内外  
 上昇した。当水試の行方、沖縄島沿岸の観測では、沖縄島南部海  
 域の100~150m層水温は平年比1℃程度低く残っていた。これは5月  
 以降南部海域にある冷水域の影響と考えられる。29℃表層中層、底  
 層については、平年比高かった。  
 長崎海洋気象台の資料によると西日本海域の表面水温は全般に平  
 年並であるが、30m以北では、以南より低かった。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和36年7月1日~7月15日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚げ量(トン) | 漁協  | 魚種別水揚げ量(トン)         | 前10日  |       | 前年同期  |
|--------|------|------|----------|-----|---------------------|-------|-------|-------|
|        |      |      |          |     |                     | 量(トン) | 隻(トン) |       |
| カツオ一本釣 | 本部   | 41   | 59.1     | 伊良部 | 大7.5, 中9.5, 小14.2   | 31    | 40.9  | 14.2  |
|        | 伊良部  | 87   | 96.3     | 宮古島 | 大17.8, 中11.7, 小13.8 | 71    | 85.1  | 100   |
|        | 八重山  | 123  | 118      | 宮古島 | 大18.7, 中12.3, 小12.8 | 71    | 85.1  | 100   |
| 計      |      | 251  | 272.4    | 伊良部 | 大20.1, 小114.7       | 99    | 126.6 | 148.7 |
| マアロは之縄 | 県漁連  | 65   | 145.4    | 伊良部 | 大30.1, 中21.8, 小28.7 | 54    | 144.6 | 262.9 |
|        | 那覇地区 | 37   | 122.7    | 伊良部 | 大11.9, 中11.2, 小14.2 | 65    | 140.7 | 192.9 |
|        | 計    | 102  | 278.1    | 伊良部 | 大20.2, 中17.6, 小20.7 | 97    | 112.7 | 104   |
| 計      |      |      |          | 伊良部 | 大11.9, 中11.2, 小14.2 | 104   | 267.2 | 365.9 |

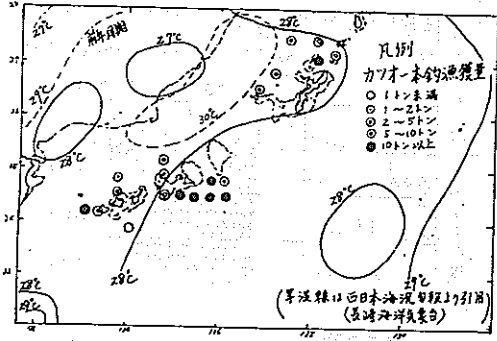
漁況

カツオ一本釣  
 7月上旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚げ量は、本部  
 14トン、伊良部11トン、八重山10トンで3漁協の総水揚げ量は  
 272.4トンで、総延隻数においては251隻である。昨年同様に比  
 べて、水揚げ水揚げ量においては4%、延延隻数においては13%増である。  
 マアロは之縄  
 県漁連、那覇地区におけるマアロは之縄の総水揚げ量は  
 278.1トンで、総延隻数は107隻である。一日一隻当りの水揚げ  
 量は、平均2.6トンで、昨年同様に3.7トンで、約30%減である。

[ 第 4 報 ]

漁海況速報

(第 4 報) 沖縄県水産試験場  
 (昭和三十五年七月) 7901-03 沖縄県糸満市西町1丁目  
 TEL. 09977-4-3573  
 (昭和36年7月16日~7月31日)



海況

沖縄近海の表面水温は、27~28℃台で、7月上旬に比べ1℃内外  
 下降した。これは東シナ海・中部海域の台風の影響下に  
 あり、下層である。  
 平年差をみると、沖縄近海の表面水温は1~2℃内外低くな  
 った。また、7月下旬の沿岸水温は、与那国で平年差-1.5℃、那覇  
 で同-0.7℃と低く残っていた。安曇村近の黒潮の流速は1.1~  
 2.2ノットで、流向は、北東から東北東であった。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和36年7月16日~7月31日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚げ量(トン) | 漁協  | 魚種別水揚げ量(トン)         | 前10日  |       | 前年同期  |
|--------|------|------|----------|-----|---------------------|-------|-------|-------|
|        |      |      |          |     |                     | 量(トン) | 隻(トン) |       |
| カツオ一本釣 | 本部   | 29   | 39.5     | 伊良部 | 中2.2, 小37.3         | 41    | 59.1  | 20.4  |
|        | 伊良部  | 74   | 109.3    | 宮古島 | 大7.3, 中2.1, 小79.3   | 74    | 96.3  | 156.7 |
|        | 八重山  | 104  | 135.3    | 宮古島 | 大7.3, 中2.1, 小79.3   | 74    | 96.3  | 156.7 |
| 計      |      | 207  | 284.1    | 伊良部 | 大7.3, 中4.3, 小250.9  | 207   | 224.4 | 375.2 |
| マアロは之縄 | 県漁連  | 65   | 113.7    | 伊良部 | 大11.9, 中11.2, 小14.2 | 65    | 145.4 | 114   |
|        | 那覇地区 | 26   | 101.7    | 伊良部 | 大11.9, 中11.2, 小14.2 | 37    | 132.7 | 86.3  |
|        | 計    | 91   | 215.4    | 伊良部 | 大11.9, 中11.2, 小14.2 | 102   | 278.1 | 199.3 |

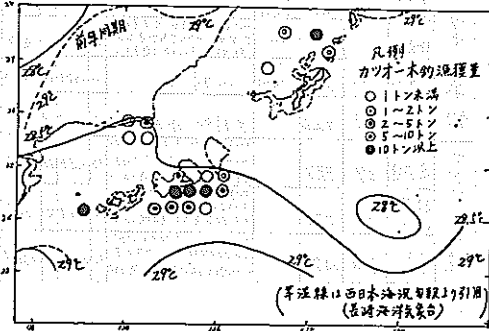
漁況

カツオ一本釣  
 7月下旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚げ量は、本部  
 14トン、伊良部11トン、八重山10トンで3漁協の総水揚げ量は、284.1  
 増延隻数においては、207隻である。上半期に比べて水揚げ量は  
 4%増、延延隻数においては20%減であった。  
 マアロは之縄  
 県漁連、那覇地区におけるマアロは之縄の総水揚げ量は215.4トン  
 総延隻数は91隻である。一日一隻当りの水揚げ量は2.4トンで  
 上半期とはほぼ同じである。

[ 第 5 報 ]

漁海況速報

(第 5 報) 沖縄県水産試験場  
 〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09999-4-3593  
 (昭和56年8月1日～8月15日分)



§ 海況

沖縄近海の表面水温は、29～29℃台で7月下旬に比べ1℃内外昇温し、表面水温の平年差は30N北側では1～3℃高く、南側では1℃内外低く、6月以降 昨年とは逆に北高南低の傾向が続いている。また、尖閣付近の黒潮の流況は、2)ノリ控である。沿岸水温は、与那国で平年差-0.2℃、那覇で-0.3℃平年値に回復した。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年8月1日～8月15日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場         | 魚種別水揚量(トン)        | 前日  |     | 昨年同月 |       |
|--------|------|------|---------|------------|-------------------|-----|-----|------|-------|
|        |      |      |         |            |                   | トン  | 隻   | トン   | 隻     |
| カツオ一本釣 | 本部   | 29   | 19.5    | 伊良部、大島、八重山 | 大11.5 中0.1 小6.3   | 29  | 29  | 34   | 28.2  |
|        | 伊良部  | 75   | 90.7    | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 74  | 70  | 55   | 52.0  |
|        | 八重山  | 149  | 147.6   | 伊良部、大島、八重山 | 小147.6            | 149 | 135 | 310  | 321.4 |
|        | 計    | 253  | 256.8   |            | 大23.2 中2.7 小210.1 | 271 | 234 | 199  | 201.6 |
| マクロはえ縄 | 県漁連  | 55   | 142.0   | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 55  | 112 | 71   | 127.4 |
|        | 那覇地巴 | 17   | 60.2    | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 17  | 10  | 7    | 73.4  |
|        | 計    | 72   | 202.2   |            | 大23.2 中2.7 小210.1 | 72  | 215 | 48   | 212.8 |

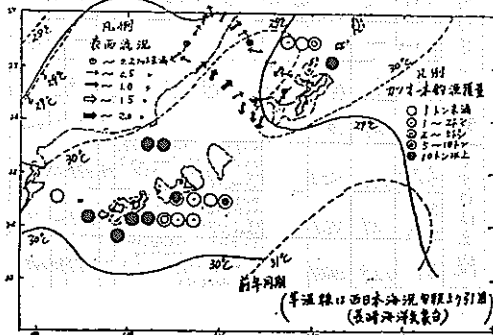
§ 漁況

・カツオ一本釣  
 8月上旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚量は本部0.6トン、伊良部1.2トン、八重山1.0トンで3漁協における総水揚量は256.8トンで7月下旬期に比べて10%減で、小別主体であった。  
 ・マクロはえ縄  
 県漁連、那覇地巴におけるマクロはえ縄の総水揚量は202.2トンで総延隻数は72隻であった。一日一隻当りの水揚量は2.8トンで7月下旬期よりやや減少している。

[ 第 6 報 ]

漁海況速報

(第 6 報) 沖縄県水産試験場  
 〒901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09999-4-3593  
 (昭和56年8月16日～8月21日分)



§ 海況

沖縄近海の表面水温は、28～28℃台で前年同期に比べ1℃内外低く、8月24～26日に当水試が実施した沖合定線観測の結果は、黒潮流軸は、久米島北西沖では大陸棚から30km以内外離れ、最速流(9ノリ)である。伊江島北西沖では大陸棚と離れ、最速流(12ノリ)で今年5月の結果とよく類似しており、前年同期に比べ、久米島北西で強い伊江島北西に弱まっている。また、久米島南海域にある南下流は、7～8ノリと5月に比べやや弱勢であるが前年同期に比べ、やや強勢であった。また、沖繩本島南部海域には、0.2～0.7ノリの南から西向き流れがみられる。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年8月16日～8月21日)

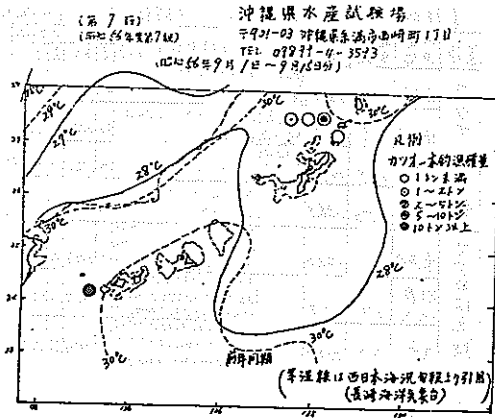
| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場         | 魚種別水揚量(トン)        | 前日  |     | 昨年同月 |       |
|--------|------|------|---------|------------|-------------------|-----|-----|------|-------|
|        |      |      |         |            |                   | トン  | 隻   | トン   | 隻     |
| カツオ一本釣 | 本部   | 17   | 16.1    | 伊良部、大島、八重山 | 大14.6 中1.4 小1.1   | 27  | 18  | 30   | 36.1  |
|        | 伊良部  | 44   | 75.8    | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 74  | 90  | 7    | 41.9  |
|        | 八重山  | 126  | 148.5   | 伊良部、大島、八重山 | 小148.5            | 149 | 147 | 110  | 159.4 |
|        | 計    | 187  | 240.4   |            | 大14.6 中2.3 小193.5 | 248 | 258 | 170  | 232.4 |
| マクロはえ縄 | 県漁連  | 57   | 125.5   | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 55  | 142 | 74   | 150.5 |
|        | 那覇地巴 | 15   | 70.1    | 伊良部、大島、八重山 | 大11.7 中2.6 小56.2  | 17  | 10  | 2    | 23.7  |
|        | 計    | 72   | 195.6   |            | 大23.2 中2.7 小210.1 | 72  | 202 | 76   | 202.2 |

§ 漁況

・カツオ一本釣  
 8月下旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚量は本部0.9トン、伊良部1.7トン、八重山1.0トンで3漁協の総水揚量は240.4トンであった。后堀南東部(赤尾崎付近)の漁場は比較的1.漁が多くなり、最高一日一隻当り3.5トンの水揚量であった。  
 ・マクロはえ縄  
 県漁連、那覇地巴におけるマクロはえ縄の総水揚量は195.6トンで総延隻数は72隻であった。一日一隻当りの水揚量は2.7トンで8月上旬期とはほぼ同じであった。

[ 第 7 報 ]

漁海況速報



海況

台風 19 号の影響で、沖縄近海の表面水温は 27~28°C 台となり前週に比べ 1~2°C 降温し、前年比 2~3°C 低め、平年比 1~2°C 低めとなっている。

那覇：宮古・石垣・与那国との地水温は前週比 1.4~1.9°C 低く、那覇で平年比 1.4°C と那国を 0.8°C 下まわった。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 56 年 9 月 11 日~9 月 16 日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量 (トン) | 漁場             | 魚種別水揚げ量 (トン)   | 前週    |       | 前年同期  |       |
|--------|------|------|----------|----------------|--|-------|-------|-------|-------|
|        |      |      |          |                |  | 隻数    | トン    | 隻数    | トン    |
| カツオ一本釣 | 本部   | 18   | 9.0      | 沖縄近海           | 大判 9.0   | 17    | 16.1  | 25    | 12.7  |
|        | 伊良部  | -    | -        | -              | カツオ類 0.0<br>カツオ類 0.0<br>カツオ類 0.0<br>カツオ類 0.0<br>カツオ類 0.0 | 44    | 76.8  | 22    | 52.8  |
|        | 八重山  | 41   | 32.6     | 台湾沖            | 小判 32.6  | 44    | 102.4 | 11    | 12.0  |
| 計      | 59   | 42.6 | -        | 大判 9.0 小判 33.6 | 41   | 209.4 | 36    | 211.5 |       |
| マアロはえ縄 | 果漁連  | 59   | 99.8     | 那覇近海           | マアロはえ縄 99.8  | 57    | 135.5 | 61    | 127.5 |
|        | 那覇地也 | 13   | 57.9     | 那覇近海           | マアロはえ縄 57.9  | 15    | 72.1  | 8     | 42.9  |
|        | 計    | 72   | 157.7    | -              | マアロはえ縄 157.7   | 72    | 197.6 | 70    | 170.4 |

漁況

カツオ一本釣

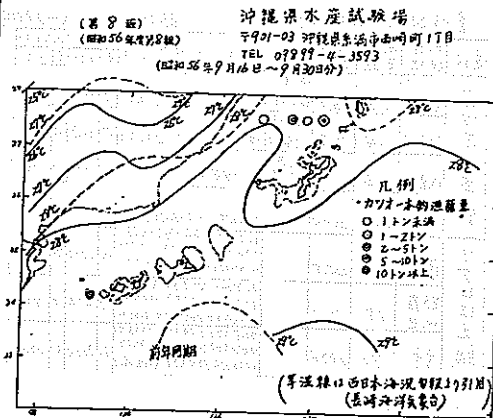
9 月上旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚げ量は本部 0.51トン、八重山 0.81トンで前月に較べてかなり落ち込んでおり、特に伊良部漁協においては餌不足等からカツオ漁を 8 月下旬に中止している。

マアロはえ縄

果漁連、那覇地也におけるマアロはえ縄の総水揚げ量は 157.71トンで、総延獲数は 172 隻とある。一日一隻当りの水揚げ量は 2.21トンで 8 月下旬に較べてわずかに減少している。

[ 第 8 報 ]

漁海況速報



海況

沖縄近海の表面水温は 27~28°C 台で前期とおおむね変化はない。9 月中旬の沖縄本島東岸の沿岸突線観測(沖縄県南東方沖 15 マイル内)の結果では沖合部に 0.5メートル以下の雨雲の流れがみられた。また表面水温は平年並であるが、久高島沖合 10~15 マイルの 100~150m 層水温は平年比 1.5°C 以上低めとなっている。

業種別、漁協別水揚げ状況 (昭和 56 年 9 月 16 日~9 月 20 日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量 (トン) | 漁場   | 魚種別水揚げ量 (トン) | 前週   |       | 前年同期 |       |
|--------|------|------|----------|------|--------------|------|-------|------|-------|
|        |      |      |          |      |              | 隻数   | トン    | 隻数   | トン    |
| カツオ一本釣 | 本部   | 19   | 28.5     | 沖縄近海 | 大判 28.5      | 18   | 9.0   | 8    | 9.9   |
|        | 伊良部  | -    | -        | -    | -            | -    | -     | 12   | 32.8  |
|        | 八重山  | 8    | 10.2     | 台湾沖  | 小判 10.2      | 41   | 31.6  | -    | -     |
| 計      | 27   | 18.7 | -        | -    | 59           | 42.6 | 20    | 42.7 |       |
| マアロはえ縄 | 果漁連  | 100  | 162.3    | 那覇近海 | マアロはえ縄 162.3 | 57   | 99.8  | 71   | 175.5 |
|        | 那覇地也 | 29   | 86.1     | 那覇近海 | マアロはえ縄 86.1  | 13   | 57.9  | 16   | 72.8  |
|        | 計    | 129  | 248.4    | -    | マアロはえ縄 248.4 | 70   | 157.7 | 87   | 248.3 |

漁況

カツオ一本釣

9 月下旬期におけるカツオの一日一隻当りの水揚げ量は本部 0.44トン、八重山 1.27トンであるが、総延獲数及び総水揚げ量ともにいづれも低調である。

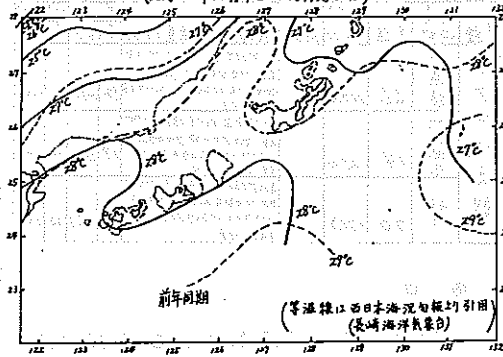
マアロはえ縄

果漁連、那覇地也におけるマアロはえ縄の総水揚げ量は 248.41トンで、総延獲数は 129 隻であった。一日一隻当りの水揚げ量は 1.91トンで 9 月上旬期に比べて減少しているが、総水揚げ量は 58% 増加している。

[ 第 9 報 ]

漁海況速報

(第9報) 沖繩県水産試験場  
 (昭和56年第9報) 〒901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目  
 TEL.098994-4-3593  
 (昭和56年10月1日～10月15日分)



海況

沖繩近海の表面水温は27～28℃で前回に比べてやや降溫した。10月7日～8日に美濃した。沖繩島南部海域の沿岸定線調査では喜屋武岬南東沖及び津嘉郎南東沖15マイル以内では23～29ノットの南～南西流が観測された。表面から50m層までの水温は平年比やや高い、前年比1℃以内が高いであるが、150m層では平年比やや低い、前年比3℃程度低いところがある。那ハ地帯沿岸地水温は13は平年並、宮古・石垣では平年比0.5℃程度高いである。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年10月1日～10月15日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場          | 魚種別水揚量(トン) | 前回(10月) | 前年同期(10月) |
|--------|------|------|---------|-------------|------------|---------|-----------|
| カツオ一本釣 | 本部   | —    | —       | (9月下旬～漁期終業) | 29         | 25      | 12.7      |
|        | 伊良部  | —    | —       | (8月下旬～漁期終業) | —          | —       | —         |
|        | 八重山  | —    | —       | (9月下旬～漁期終業) | 102        | —       | —         |
| 計      |      |      |         |             | 27         | 18.7    | 13        |
| マクロはえ縄 | 県漁連  | 64   | 142.5   |             | 119.9      | 100     | 162.0     |
|        | 那ハ地帯 | 19   | 64.4    |             | 86.1       | 9       | 41.3      |
|        | 計    | 82   | 206.9   |             | 206.0      | 109     | 203.3     |

漁況

カツオ一本釣(昭和56年度)

本部漁協—漁期は4月から9月で前年より1ヶ月短い。総水揚量は384トンで前年比20%増と、漁期は5月後半から漁期後半に見られる。今年は見られなかった。1日1隻当りの水揚量は漁期間平均14.5kgと前年約1.5倍と高い。  
 伊良部漁協—漁期は6月～9月の3ヶ月間で前年より2ヶ月短い。総水揚量は486トンで前年比20%減と、漁期は前年に比べてより小利が増加した。1日1隻当りの水揚量は漁期間平均12.34kgと前年より減少した。  
 八重山漁協—漁期は5月～9月で前年より1ヶ月早く始まった。総水揚量は702トンで前年比23%減と、漁期は前年に比べてより小利が増加した。1日1隻当りの水揚量は970kgと前年比30%減であった。

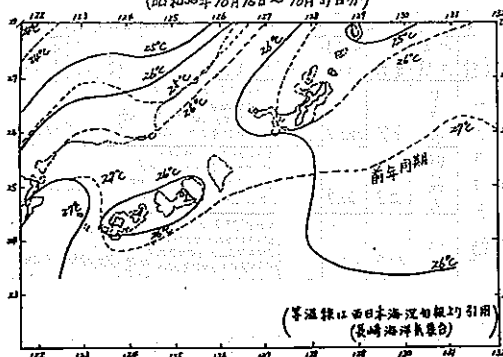
マクロはえ縄

県漁連、那ハ地帯におけるマクロはえ縄の総水揚量は206.9トンと、前年並と同等であった。1日1隻当りの水揚量は2.5トンと9月下旬期に比べて32%の増となっている。

[ 第 10 報 ]

漁海況速報

(第10報) 沖繩県水産試験場  
 (昭和56年第10報) 〒901-03 沖繩県糸満市西崎町1丁目  
 TEL.098994-4-3593  
 (昭和56年10月16日～10月31日分)



海況

沖繩近海の表面水温は25～27℃で前回に比べて1℃以内降溫した。魚釣船近海の水温は26.6℃で平年並。沿岸地水温は、那ハで平年比-0.6℃、宮古-0.7℃、石垣-0.2℃、与那国-0.2℃であった。10月に開催された太平洋南部及び九州南部海域の漁海況長期予報会議での本年下半期(5.16.10月～5.17.3月)の海域予報によると那ハ北西方の黒潮は、那ハ北西105度付近を通り大きな変動はないと、また沖繩県近海の沿岸表面水温は、平年並やや低目に経過するものとみられる。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年10月16日～10月31日)

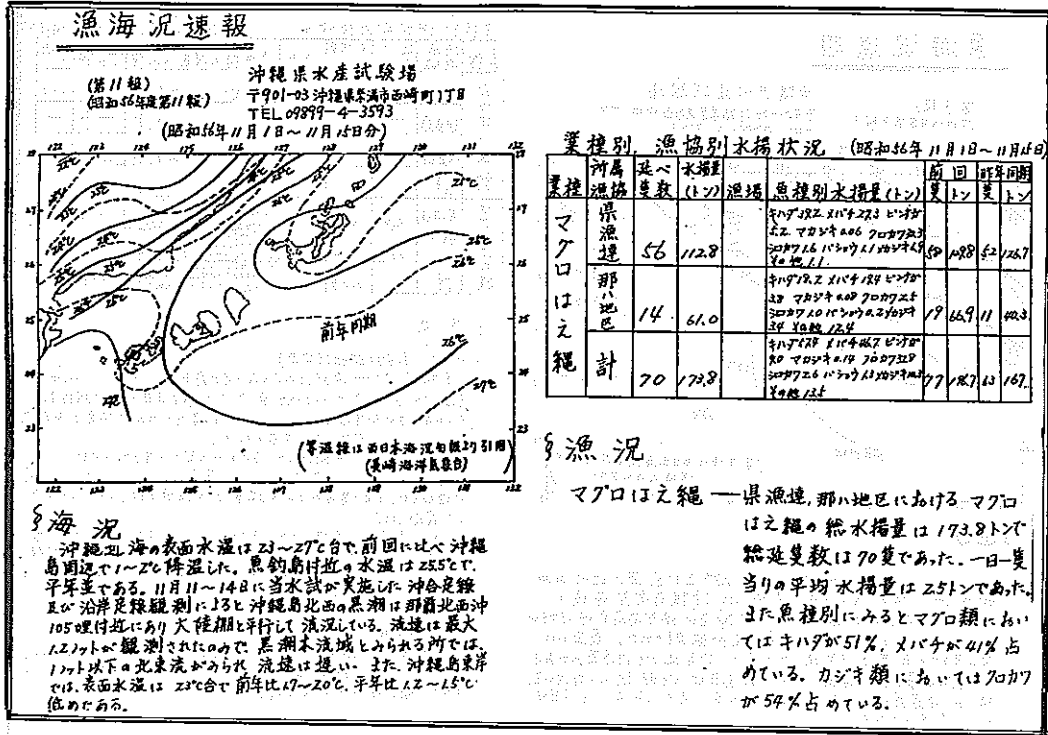
| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場 | 魚種別水揚量(トン) | 前回(10月) | 前年同期(10月) |
|--------|------|------|---------|----|------------|---------|-----------|
| マクロはえ縄 | 県漁連  | 58   | 129.8   |    | 129.8      | 64      | 143       |
|        | 那ハ地帯 | 19   | 66.9    |    | 66.9       | 18      | 56.6      |
|        | 計    | 77   | 196.7   |    | 196.7      | 82      | 200       |

漁況

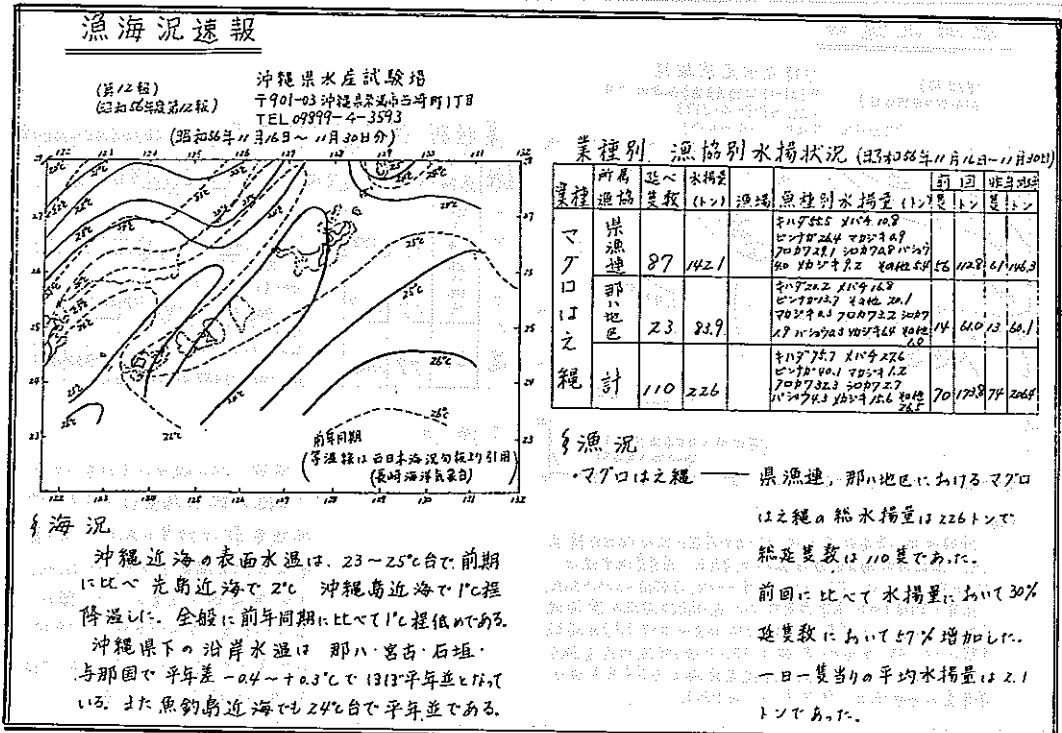
マクロはえ縄

県漁連、那ハ地帯におけるマクロはえ縄の総水揚量は196.7トンと、前回に比べて32%の増となっている。また漁期別に見るとマクロ類においてはキハガが52%、ヌハガが36%占めている。カジキ類においては70kgが4%占めている。

〔第11報〕



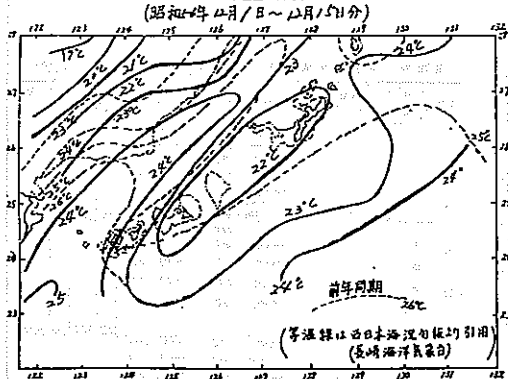
〔第12報〕



[ 第 13 報 ]

漁海泥速報

(第13報) 沖縄県水産試験場  
 (昭和55年第13報) 〒901-03 沖縄県糸満市吉崎町1丁目  
 TEL 098999-4-3593



海況

沖縄近海の表面水温は、 $24\sim 26^{\circ}\text{C}$ 台で、県下全海域で前期に比べて $2^{\circ}\text{C}$ 程度降温した。前半同期に対しては県下全海域で $2^{\circ}\text{C}$ 程度低くなっている。沖縄県下の沿岸水温は寒波の影響で沖縄本島～与那国までの県下各地で、前半並 $-0.8\sim -1.8^{\circ}\text{C}$ と低くなっている。魚釣島近海では前期に比べて $0.11^{\circ}\text{C}$ 低くなっている。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和55年12月1日～12月31日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場 | 魚種別水揚量(トン) |          |          | 前回同月同日 |      |      |
|--------|------|------|---------|----|------------|----------|----------|--------|------|------|
|        |      |      |         |    | 魚種         | トン       | 隻        | トン     | 隻    | トン   |
| マクロほえ縄 | 県漁連  | 65   | 100.2   |    | キハダ 22.2   | キハダ 21.9 | キハダ 21.7 | 20.5   | 20.4 | 20.0 |
|        |      |      |         |    | 20.7       | 20.7     | 20.7     | 20.7   | 20.7 | 20.7 |
| マクロほえ縄 | 那八地区 | 19   | 107.8   |    | キハダ 5.7    | キハダ 5.7  | キハダ 5.7  | 5.7    | 5.7  | 5.7  |
|        |      |      |         |    | 2.2        | 2.2      | 2.2      | 2.2    | 2.2  | 2.2  |
| 縄      | 計    | 84   | 208     |    | キハダ 27.9   | キハダ 27.6 | キハダ 27.4 | 26.2   | 26.1 | 25.7 |
|        |      |      |         |    | 20.9       | 20.9     | 20.9     | 20.9   | 20.9 | 20.9 |

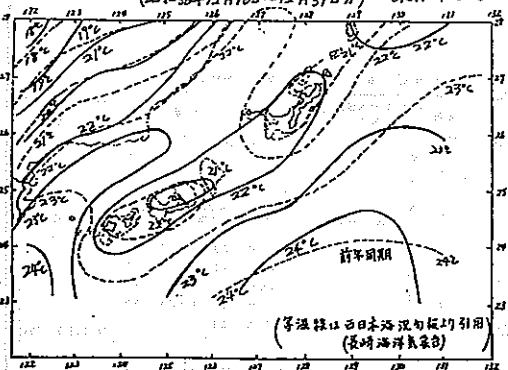
漁況

マクロほえ縄——県漁連、那八地区漁協における総水揚量は250トンで、総延隻数は84隻であった。一日一隻当りの平均水揚量は3.0トンで前日に比べて20%増加した。魚種組成についてはキハダ40%、707カジキが20%占めている。

[ 第 14 報 ]

漁海泥速報

(第14報) 沖縄県水産試験場  
 (昭和56年第14報) 〒901-03 沖縄県糸満市吉崎町1丁目  
 TEL 098999-4-3593 TEL 777777  
 (昭和56年12月16日～12月31日) 098999-4-3703



海況

沖縄近海の表面水温は、 $21\sim 22^{\circ}\text{C}$ 台で、前半に比べて $1^{\circ}\text{C}$ 程度降温した。12月17～18日に西水沢の実施した沖縄県東岸の沿岸定線観測では、表面水温は前半、前半比 $1\sim 2^{\circ}\text{C}$ 低めで、150m層までの各層で前半比 $2^{\circ}\text{C}$ 以上低めと示している。前半比を対比し、50、100m層で $1\sim 2^{\circ}\text{C}$ 低め、150m層で前半並と示している。那八、与那、石垣、与那国の沿岸水温は前半比 $0.7\sim 1.4^{\circ}\text{C}$ 低め、また、魚釣島近海では $0.5^{\circ}\text{C}$ 低めとなっている。

業種別 漁協別水揚状況 (昭和56年12月16日～12月31日)

| 業種     | 所属漁協 | 延べ隻数 | 水揚量(トン) | 漁場 | 魚種別水揚量(トン) |          |          | 前回同月同日 |      |      |
|--------|------|------|---------|----|------------|----------|----------|--------|------|------|
|        |      |      |         |    | 魚種         | トン       | 隻        | トン     | 隻    | トン   |
| マクロほえ縄 | 県漁連  | 94   | 246.3   |    | キハダ 67.7   | キハダ 67.7 | キハダ 67.7 | 65.0   | 65.0 | 65.0 |
|        |      |      |         |    | 20.2       | 20.2     | 20.2     | 20.2   | 20.2 | 20.2 |
| マクロほえ縄 | 那八地区 | 24   | 91.0    |    | キハダ 2.2    | キハダ 2.2  | キハダ 2.2  | 2.2    | 2.2  | 2.2  |
|        |      |      |         |    | 3.5        | 3.5      | 3.5      | 3.5    | 3.5  | 3.5  |
| 縄      | 計    | 118  | 337.3   |    | キハダ 69.9   | キハダ 69.9 | キハダ 69.9 | 67.2   | 67.2 | 67.2 |
|        |      |      |         |    | 23.7       | 23.7     | 23.7     | 23.7   | 23.7 | 23.7 |

漁況

マクロほえ縄——県漁連、那八地区漁協におけるマクロほえ縄の総水揚量は、<sup>246.3</sup>246.3トンで、総延隻数は118隻であった。正月前の12月16日の総水揚量は前日に比べて26%、総延隻数に於いて40%増加した。なお県漁連においては県外より707カジキ(冷凍品)の搬入が前日に比べて減少した。

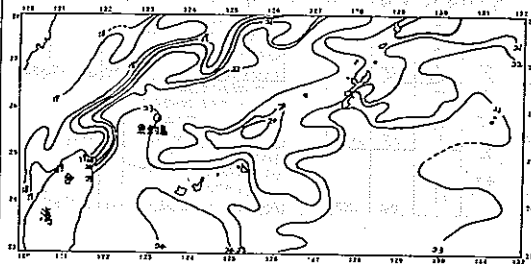
[ 第 15 報 ]

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 2901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL. 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第 15 報)  
 (昭和 56 年度第 15 報)

(昭和 57 年 1 月 1 日 - 1 月 15 日)



(等深線は東シナ海海況速報(海産調査センター)より引用  
 昭和 57 年 1 月 6 日 - 1 月 12 日)

§海況

沖縄近海の表面水温は 20~22℃で前日に比べて程降温し前年前期に比べてやや高の傾向にある。沖縄島東岸の沿岸観測の結果では表面及 10~150m 水温は平年比 1~2℃程度高の傾向にある。2区、豊後湾前東沖では、49~53m 間の表層西流がみられ、1区、久米島の南東沖でも同様の流れがみられた。県下各地の沿岸定地水温と3区、野間石垣で平年比、高5区間で 0.8~1.0℃低く、魚釣量減少で 22%で平年並となっている。

漁獲別、漁協別水揚げ状況 (昭和 57 年 1 月 1 日 - 1 月 15 日)

| 区域 | 所属漁協 | 漁場 | 漁獲別水揚げ量(トン) | 前同 昨年同期 |       |
|----|------|----|-------------|---------|-------|
|    |      |    |             | 変(トン)   | 変(トン) |
| 東  | 1    | 1  | キハダ 33.8    | 11.4    | 12.3  |
|    |      |    | ビンナガ 24.0   | 20.4    | 1.2   |
|    |      |    | クロカワ 3.9    | 10.7    | 6.7   |
|    |      |    | メバチ 1.4     | 20.2    | 6.2   |
|    |      |    | その他 1.0     |         |       |
| 西  | 2    | 1  | キハダ 2.0     | 1.4     | 1.2   |
|    |      |    | ビンナガ 2.6    | 20.2    | 6.6   |
|    |      |    | クロカワ 2.0    | 10.7    | 6.2   |
|    |      |    | メバチ 1.4     | 10.2    | 5.7   |
|    |      |    | その他 1.0     |         |       |
| 北  | 3    | 1  | キハダ 4.2     | 1.4     | 2.3   |
|    |      |    | ビンナガ 4.6    | 20.2    | 6.2   |
|    |      |    | クロカワ 4.9    | 10.7    | 6.7   |
|    |      |    | メバチ 1.4     | 10.2    | 11.9  |
|    |      |    | その他 1.7     |         |       |
| 南  | 4    | 1  | キハダ 4.2     | 1.4     | 2.3   |
|    |      |    | ビンナガ 4.6    | 20.2    | 6.2   |
|    |      |    | クロカワ 4.9    | 10.7    | 6.7   |
|    |      |    | メバチ 1.4     | 10.2    | 11.9  |
|    |      |    | その他 1.7     |         |       |
| 合計 |      |    | 44          | 125.1   | 118.6 |

§漁況

マゴロは元網——県漁連、那覇地区漁協におけるマゴロは元網の総水揚げ量は 100%で総漁獲量は 6.9 隻であった。総水揚げは前日に比べて 10%減、総漁獲量は 17%減であった。昨年同様に比べて 10%増減、総漁獲量においては 5%減少した。

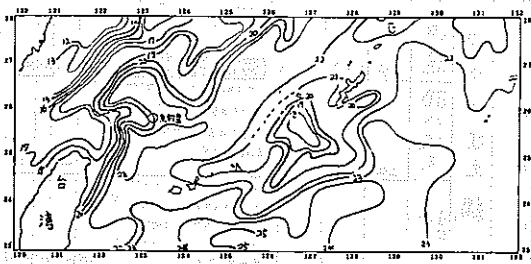
[ 第 16 報 ]

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 2901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL. 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第 16 報)  
 (昭和 56 年度第 16 報)

(昭和 57 年 1 月 16 日 - 1 月 31 日)



(等深線は東シナ海海況速報(海産調査センター)より引用  
 昭和 57 年 1 月 20 日 - 1 月 26 日)

§海況

沖縄近海の表面水温は、18~22℃で、久米島南方海域を除いては、平年並となっている。久米島の南方 40~50 マイルに大きな冷水域が見られ、また、沖縄島東方にも、小型の冷水域が見られるが、その成因については不明である。県下各地の沿岸定地水温は、宮古島の 18.1℃(平年並-0.8℃)を除いては、ほぼ平年並で推移。石垣で 20℃で、与那国で 22℃である。また、奥約最近海の表面水温は 22.0℃でほぼ平年並となっている。

漁獲別、漁協別水揚げ状況 (昭和 57 年 1 月 16 日 - 1 月 31 日)

| 区域 | 所属漁協 | 漁場 | 漁獲別水揚げ量(トン) | 前同 昨年同期   |       |
|----|------|----|-------------|-----------|-------|
|    |      |    |             | 変(トン)     | 変(トン) |
| 東  | 1    | 1  | キハダ 47.5    | メバチ 30.5  |       |
|    |      |    | ビンナガ 9.1    | メカジキ 0.6  |       |
|    |      |    | クロカワ 36.8   | シロカワ 2.7  |       |
|    |      |    | メバチ 0.7     | メカジキ 6.1  |       |
|    |      |    | その他 1.4     |           |       |
| 西  | 2    | 1  | キハダ 32.9    | メバチ 20.2  |       |
|    |      |    | ビンナガ 24.2   | メカジキ 1.5  |       |
|    |      |    | クロカワ 2.7    | シロカワ 1.5  |       |
|    |      |    | メバチ 0.5     | メカジキ 6.0  |       |
|    |      |    | その他 3.4     |           |       |
| 北  | 3    | 1  | キハダ 80.4    | メバチ 50.7  |       |
|    |      |    | ビンナガ 33.3   | メカジキ 2.1  |       |
|    |      |    | クロカワ 39.5   | シロカワ 4.2  |       |
|    |      |    | メバチ 1.2     | メカジキ 12.1 |       |
|    |      |    | その他 4.8     |           |       |
| 南  | 4    | 1  | キハダ 80.4    | メバチ 50.7  |       |
|    |      |    | ビンナガ 33.3   | メカジキ 2.1  |       |
|    |      |    | クロカワ 39.5   | シロカワ 4.2  |       |
|    |      |    | メバチ 1.2     | メカジキ 12.1 |       |
|    |      |    | その他 4.8     |           |       |
| 合計 |      |    | 62          | 228.3     | 190.2 |

§漁況

マゴロは元網——県漁連、那覇地区漁協におけるマゴロは元網の総水揚げ量は 228.3 トンで総漁獲量は 190.2 隻であった。一日一隻当りの平均水揚げ量は 3.7 トンであった。また、県漁連における最高水揚げ量は 14.6 トンで最低 0.2 トンであった。那覇地区漁協においては最高 12.6 トンで最低は 0.2 トンであった。



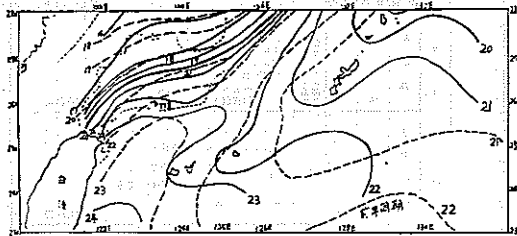
[ 第 17 報 ]

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 ①001-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第 17 報)  
 (昭和 57 年度第 17 報)

(昭和 57 年 2 月 1 日 ~ 2 月 15 日)



(等温線は西日本海況旬報(気象海洋庁発表)より引用  
 昭和57年2月1日~2月15日)

§ 海況

沖縄島近海海面水温は、20~23℃台で前週とはほぼ同じである。2月2日~5日に実施した沖縄島北西部の沖合定網及び沖縄島南部の沿岸定網観測の結果では、沖縄島北西を流す風層の流速は最高1.2ノットと前年同期に比べ速いようである。また沖縄島西岸の南下流は1.0ノット未満で同様に速い。沖縄島南部沿岸には、0.5~0.8ノットの南東一南西流がみられた。沖縄島西岸の200m層水温は18℃台で前年比1~2℃低目で、平年並。東沿岸の150m層では20℃台で前年並、平年やや高めとなっている。

各地の定網水温は石垣、与那国で平年比やや高め、その他で平年並である。また島の近海水温は、22.6℃で平年比やや高めとなっている。

産別別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年2月1日~2月15日)

| 産別  | 所属漁協数(トン) | 漁獲量(トン) | 魚種別水揚げ量(トン) |      |      |      |      | 前年同月同産別 |       |    |       |    |       |
|-----|-----------|---------|-------------|------|------|------|------|---------|-------|----|-------|----|-------|
|     |           |         | キハダ         | メバチ  | ビンナガ | クロカワ | その他  | 変(トン)   | 変(トン) |    |       |    |       |
| 大規模 | 58        | 154.3   | 57.4        | 25.0 | 26.3 | 2.4  | 21.1 | 3.8     | 0.1   | 45 | 135.4 | 51 | 139.9 |
| 小規模 | 19        | 106.5   | 36.5        | 23.4 | 29.8 | 1.7  | 3.1  | 2.1     | 0.1   | 17 | 92.9  | 34 | 87.1  |
| 合 計 | 78        | 260.8   | 93.9        | 48.4 | 56.1 | 4.1  | 24.2 | 5.9     | 2.2   | 62 | 228.3 | 85 | 227   |

§ 漁況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚げ量は、260.8トンで総漁獲量は78隻であった。一日一度当りの平均水揚げ量は3.4トンであった。また県漁連における最高水揚げ量は10.5トンで最低0.1トンであった。那覇地区漁協においては最高10.3トンで最低0.6トンであった。

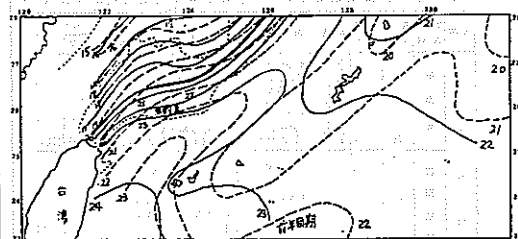
[ 第 18 報 ]

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 ①001-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第 18 報)  
 (昭和 56 年度第 18 報)

(昭和 57 年 2 月 16 日 ~ 2 月 28 日)



(等温線は西日本海況旬報(気象海洋庁発表)より引用  
 昭和57年2月16日~2月28日)

§ 海況

沖縄近海海面水温は、21~23℃台で、前期(2月前半)に比べ、沖縄島周辺で1℃程昇温した。前年同期に比べ、1℃程高目であるが、ほぼ平年並水温となっている。

島の近海水温は、那覇22.6℃、宮古21.0℃、石垣21.9℃、与那国22.6℃である。石垣で平年比1.1℃高目以外は平年比-0.1~-0.5℃と各地とも平年並である。

産別別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年2月16日~2月28日)

| 産別  | 所属漁協数(トン) | 漁獲量(トン) | 魚種別水揚げ量(トン) |      |      |      |      | 前年同月同産別 |       |    |       |    |       |
|-----|-----------|---------|-------------|------|------|------|------|---------|-------|----|-------|----|-------|
|     |           |         | キハダ         | メバチ  | ビンナガ | クロカワ | その他  | 変(トン)   | 変(トン) |    |       |    |       |
| 大規模 | 46        | 130.2   | 49.1        | 3.1  | 13.9 | 0.7  | 18.3 | 2.3     | 0.5   | 58 | 154.3 | 54 | 153.0 |
| 小規模 | 19        | 77.6    | 28.4        | 24.2 | 17.6 | 0.6  | 1.1  | 1.7     | 0.1   | 18 | 106.5 | 38 | 135.8 |
| 合 計 | 65        | 207.8   | 77.5        | 57.2 | 31.5 | 1.3  | 19.4 | 3.8     | 0.6   | 76 | 260.8 | 92 | 288.8 |

§ 漁況

マグロはえ縄——県漁連、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の水揚げ量は、207.8トンで総漁獲量は65隻であった。一日一度当りの平均水揚げ量は3.2トンであった。また、県漁連における最高水揚げ量は10.7トンで最低0.4トンであった。那覇地区漁協においては最高10.6トンで最低0.6トンであった。

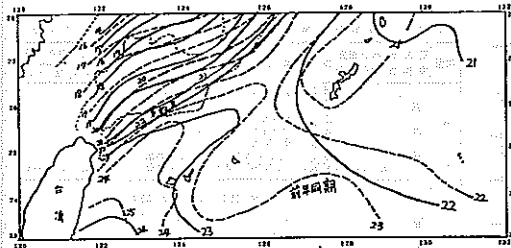
〔第19報〕

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第19報)  
 (昭和56年度第19報)

(昭和57年3月1日～3月15日)



等温線は西日本海況知照(気象海洋気象台)より引用  
 昭和57年3月1日～3月15日

§海況

沖縄島近海海面水温は、21～22℃で、2月下旬とほとんど変化がない。また、前年同期とはほぼ同様であるが、与那国島南西でやや低目のようである。  
 魚釣近海の水温は、22℃で、前週(2月下旬)に比べ1℃程度低した。県下各地の定地水温は、那覇、宮古20℃台、石垣21℃台、与那国22℃台で年差-0.4～+0.1℃と年差である。3月12日に開かれた太平洋南極及び九州南部漁業視察会議における昭和57年4月～5月までの沖縄県下の海況予想では、沖縄島北西方の黒潮は、那覇北西110度付近を中心に流れるが流軸位置、流速の変動は昨年より大きく、また県下沿岸域の海面水温は、年差に推移するが、夏季には多少の変動があるみかみである。

魚種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年3月1日～3月15日)

| 魚種  | 所産漁協 | 延べ水揚げ量(トン) | 漁場    | 魚種別水揚げ量(トン) | 前週                            |       | 前年同期 |       |  |
|-----|------|------------|-------|-------------|-------------------------------|-------|------|-------|--|
|     |      |            |       |             | 集                             | ト     | 集    | ト     |  |
| マグロ | 県産   | 59         | 130.0 | キハダ         | 48.7                          | メバチ   | 22.1 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 31.3                          | マガジキ  | 1.0  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 12.2                          | シロカワ  | 1.5  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0.2                           | メカジキ  | 2.5  |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 4.5                           |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | (クロカワが日本には県外輸入が18回あり11.1トン含む) |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 46                            | 130.2 | 45   | 118.2 |  |
| マグロ | 那覇地区 | 27         | 120.3 | キハダ         | 58.4                          | メバチ   | 30.2 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 20.9                          | マガジキ  | 1.0  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 1.1                           | シロカワ  | 1.7  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0.1                           | メカジキ  | 6.9  |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 0                             |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 19                            | 77.6  | 29   | 88.6  |  |
| マグロ | 県計   | 86         | 250.3 | キハダ         | 108.1                         | メバチ   | 52.3 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 52.2                          | マガジキ  | 2.0  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 13.3                          | シロカワ  | 3.2  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0.3                           | メカジキ  | 14.4 |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 4.5                           |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 65                            | 207.8 | 74   | 207   |  |

§漁況

マグロはえ縄——県産、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は250.3トンで総集量数は65隻であった。1隻当たりの平均水揚げ量は2.9トンであった。また、県産漁における最高水揚げ量は8.5トンで最低0.06トンであった。那覇地区漁協においては最高11.2トンで最低は0.3トンであった。

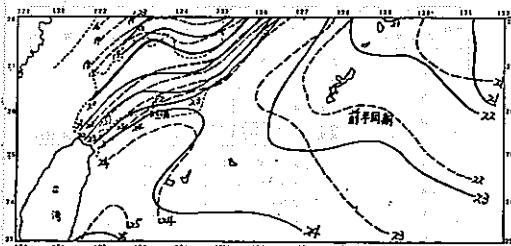
〔第20報〕

漁海況速報

沖縄県水産試験場  
 901-03 沖縄県糸満市西崎町1丁目  
 TEL 09899-4-3593  
 テレファックス 09899-4-8703

(第20報)  
 (昭和56年度第20報)

(昭和57年3月16日～3月31日)



等温線は西日本海況知照(気象海洋気象台)より引用  
 昭和57年3月16日～3月31日

§海況

沖縄島近海海面水温は、22～24℃で、3月上旬に比べ、1℃程度低し、前年同期とはほぼ同様である。年差をみると、沖縄近海は、1℃内外高めとなっている。3月中旬の沖縄島沿岸の南下流は1ノット以下の弱勢であるが、久米島南方には1ノット以上の南下流がみられる。  
 魚釣近海の水温は、24℃で、年差0.8℃高めである。県下各地の定地水温は、那覇で22.0℃、宮古で23.0℃、石垣で24.4℃、与那国で24.4℃と各地とも年差0.8～1.5℃高めとなっている。  
 長崎海洋気象台の今夏の海況予想では、東シナ海の黒潮の流量は、やや多い見込みである。

魚種別、漁協別水揚げ状況 (昭和57年3月16日～3月31日)

| 魚種  | 所産漁協 | 延べ水揚げ量(トン) | 漁場    | 魚種別水揚げ量(トン) | 前週                           |       | 前年同期 |       |  |
|-----|------|------------|-------|-------------|------------------------------|-------|------|-------|--|
|     |      |            |       |             | 集                            | ト     | 集    | ト     |  |
| マグロ | 県産   | 74         | 154.3 | キハダ         | 63.8                         | メバチ   | 37.0 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 10.1                         | マガジキ  | 2.4  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 15.8                         | シロカワ  | 2.0  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0.7                          | メカジキ  | 11.0 |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 11.5                         |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | (クロカワが日本には県外輸入が2回あり12.4トン含む) |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 59                           | 130.0 | 77   | 125.4 |  |
| マグロ | 那覇地区 | 52         | 144.4 | キハダ         | 55.5                         | メバチ   | 47.8 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 11.3                         | マガジキ  | 1.1  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 14.2                         | シロカワ  | 2.3  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0                            | メカジキ  | 11.8 |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 0.4                          |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | (クロカワが日本には県外輸入が2回あり13.2トン含む) |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 27                           | 120.3 | 31   | 101.4 |  |
| マグロ | 県計   | 126        | 298.7 | キハダ         | 119.3                        | メバチ   | 84.8 |       |  |
|     |      |            |       | ビンナガ        | 21.4                         | マガジキ  | 3.5  |       |  |
|     |      |            |       | クロカワ        | 30.0                         | シロカワ  | 4.3  |       |  |
|     |      |            |       | バショウ        | 0.7                          | メカジキ  | 22.8 |       |  |
|     |      |            |       | その他         | 11.9                         |       |      |       |  |
|     |      |            |       |             | 86                           | 250.3 | 68   | 227.8 |  |

§漁況

マグロはえ縄——県産、那覇地区漁協におけるマグロはえ縄の総水揚げ量は298.7トンで総集量数は126隻であった。1隻当たりの平均水揚げ量は2.4トンであった。また県産漁における1隻あたり最高水揚げ量は8.1トンで最低0.2トンであった。那覇地区漁協においては最高10.0トンで最低0.1トンであった。